

第三次千曲市観光振興計画



©信州千曲観光局

はじめに

千曲市は、市名の由来となる日本を代表する大河「千曲川」や、一目十万本「日本一のあんずの里」、国の名勝指定、重要文化的景観に選定され、令和 2 年には日本遺産にも認定された「姨捨棚田（田毎の月）」など豊かな自然環境と、日本最大級の竪穴式石室を持つ国指定史跡「森將軍塚古墳」、かつて商都として栄え白壁の土蔵や家が立ち並ぶ「稻荷山重要伝統的建造物群保存地区」、開湯 120 年を超える信州屈指の温泉「戸倉上山田温泉」など、歴史文化の香り漂う貴重な魅力ある観光資源が豊富にあります。



平成 15 年の千曲市誕生以来、市の観光振興を図るため「千曲市観光振興計画」を策定し、千曲市ブランドの確立や観光基盤の整備に努めてまいりました。

しかし、この間に世の中は大きく変わり、団体旅行から個人の目的にあわせた個人旅行への移行により個人観光客を中心とした新しい旅行の需要が増加するとともに、旅行ニーズも物販等の「モノ消費」から、アクティビティやイベントなどその地域に行かなければ経験することのできない「コト消費」へと転換しています。また、観光分野においてもグローバル化の進展による外国人旅行者の増加や、スマートフォンの普及などにより、「いつでも」「どこでも」「誰でも」情報収集や情報発信ができるようになりました。そして、近年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により観光需要が大幅に減少し、当市においても、観光客の減少や各種集客イベントの延期・中止により、宿泊業をはじめ、交通・物販・飲食業等多くの産業が深刻な影響を受けました。

このような状況下において、観光に対する意識や需要の変化に対応した柔軟で実効性のある施策を推進するとともに、With コロナ、After コロナを見据え、第三次千曲市観光振興計画を策定いたしました。

今後は、千曲市の観光の将来像（ビジョン）「月とあんずと名湯と～いつでも何度でも癒されるまち～」の達成に向けた様々な取り組みを通じ、訪れる人が千曲市の歴史や文化に親しみ、更に興味を抱き何度も訪れたいくなるまちづくりを進めるとともに、市民自らが住む地域の歴史や文化、豊かな自然を知ることにより、誇りと愛着を持ち、観光客を温かくお迎えし、リピーターの獲得を目指してまいります。

最後に、この計画の策定にあたり貴重なご意見・ご提言をいただきました策定委員の皆様をはじめ、意見募集などにご意見をお寄せいただきました多くの皆様に対しまして、心から感謝申し上げますとともに、この計画の推進と実現に向け、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

千曲市長 小川 修一

目次

第1章 千曲市観光振興計画の基本的な考え方

- 1. 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2. 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3. SDGs（持続可能な開発目標）の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 観光の現状と動向

- 1. 国内における観光の現状と動向
 - (1) 日本人旅行市場の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - (2) 訪日外国人旅行市場の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (3) コロナ禍における旅行需要の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (4) 行ってみたい旅行先・旅行先に求めるもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2. 長野県内における観光の現状と動向
 - (1) 県内観光地利用者の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (2) 県内外国人旅行者の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - (3) 新たな取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 3. 千曲市における観光の現状
 - (1) 千曲市内の観光の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - (2) 市民の意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - (3) 事業者の意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (4) 来訪者の満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

第3章 千曲市が目指す観光の将来像(ビジョン)

- 1. 観光振興ビジョン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 2. 数値目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

第4章 観光の振興に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

第5章 観光の振興に関する基本的施策

- 千曲市観光振興施策体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 1. 観光振興施策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 2. 観光需要の創出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 3. 観光基盤の充実・強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 4. 観光情報発信の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

第6章 観光振興計画推進にあたって

- 1. 計画推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 2. 計画の検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 3. 計画の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 4. 役割一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

- 《巻末資料》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

＜第1章 千曲市観光振興計画の基本的な考え方＞

1. 計画策定の趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大は、観光需要の激減など深刻な影響を与えるとともに、人々の暮らしや働き方等を急激に変化させました。

コロナ以前の状況に戻るまでには、しばらくの期間が必要と考えられるため、千曲市は With コロナ・After コロナ時代における持続可能な観光振興に関する施策を、戦略的・効率的・効果的に進め、市民、関係団体等との「協働」によるまちづくりに取り組み、「第三次千曲市総合計画」との整合を図りながら観光振興計画を策定します。

2. 計画期間

令和4年度（2022年度）から令和8年度（2026年度）までの5年間

3. SDGs（持続可能な開発目標）の推進

SDGs（Sustainable Development Goalsの略）は、国際社会共通の「持続可能な開発目標」として、2030年の目標達成に向けて、世界のすべての国や、地域だけでなく、地方自治体や民間企業等も達成に向けて取り組むこととされています。

本計画においても、関係部局と連携を図り、総合的かつ効果的にSDGsを推進します。

【本計画に関わるゴール】



- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 12. つくる責任 つかう責任
- 17. パートナーシップで目標を達成しよう

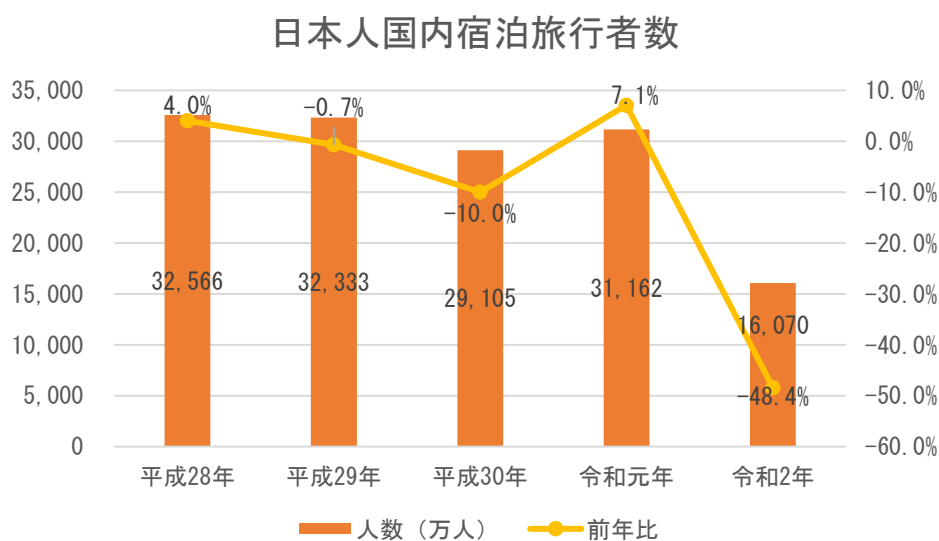
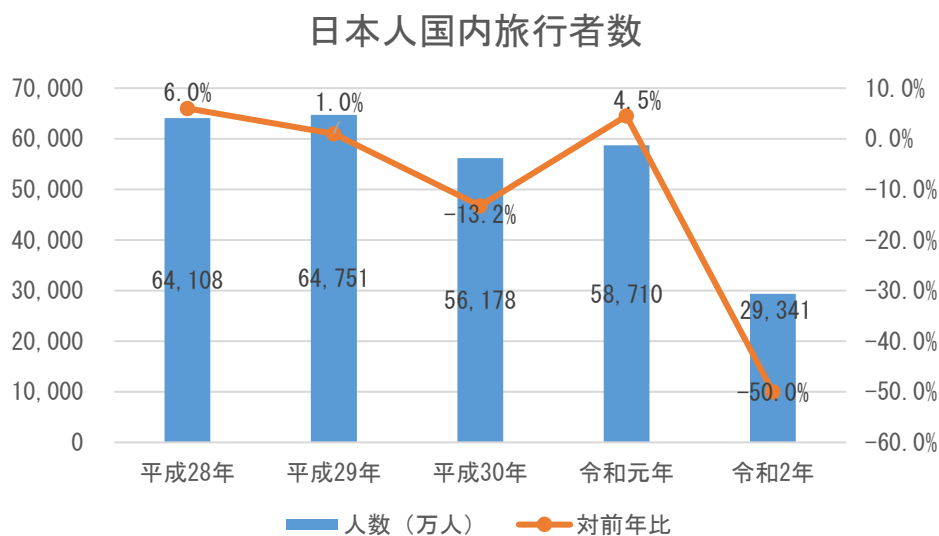
＜第2章 観光の現状と動向＞

1. 国内における観光の現状と動向 －新型コロナウイルス感染症の拡大による深刻な影響－

(1) 日本人旅行市場の概要

令和2年の日本人国内旅行者数は、2億9341万人（前年比50.0%減）と新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により前年を大幅に下回りました。また、宿泊旅行者数についても、1億6070万人（前年比48.4%減）と前年を大幅に下回りました。

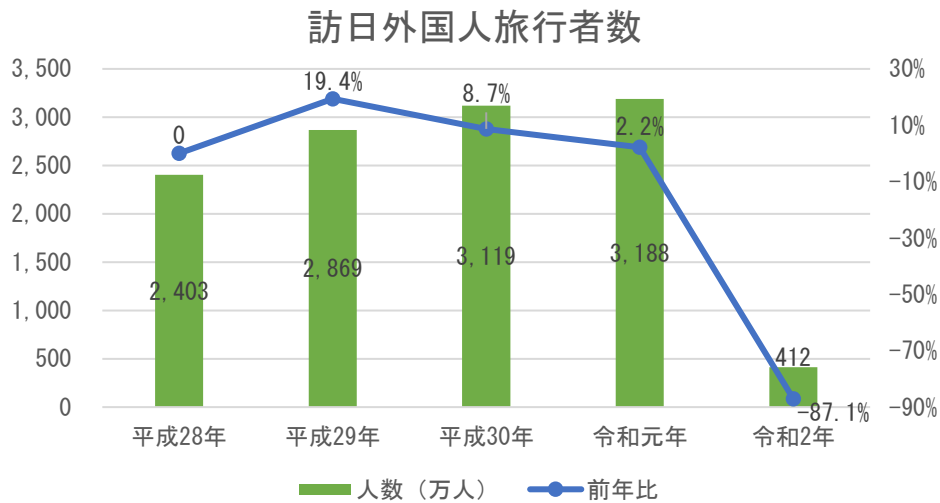
新型コロナウイルス感染症の拡大は、観光業をはじめ地域経済に大きな打撃と深刻な影響を与えました。



出典：「2020年旅行・観光消費動向調査（観光庁）」の結果をもとに作成

(2) 訪日外国人旅行者数の概要

訪日外国人旅行者数は、増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、令和2年は412万人（前年比87.1%減）となりました。



出典：「2020年旅行・観光消費動向調査（観光庁）」の結果をもとに作成

(3) コロナ禍における旅行需要の動向

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、旅行需要は著しく落ち込んでおり、依然収束が見込めない状況であります。コロナ収束後の旅行意向調査では、「これまで以上に旅行に行きたい」「これまでと同程度旅行に行きたい」との回答は約70%となっています。

また、「コロナ収束後に海外観光旅行したい国・地域」の調査では、「日本」がアジア・欧米豪で1位となっており、訪日意向に高い支持を得ています。

(4) 行ってみたい旅行先・旅行先に求めるもの

国内旅行者における今後行ってみたい国内旅行先として、北海道・沖縄県・京都府・東京都・大阪府が上位にあがっています。

旅行先に求めるものについては、「自然観光」「温泉旅行」「グルメ」「歴史・文化観光」が上位を占めていますがニーズは年々多様化しています。

ニーズは年々変化するため、あらゆる分野に視野を広げトレンドを把握し、観光客を意識したサービスや商品の提供が求められています。

訪日外国人における都道府県訪問者数は、東京・千葉・大阪・京都が上位となっています。

訪日外国人旅行者の目的は、日本食を食べる、ショッピング、繁華街の街歩き、自然・景勝地巡り、日本酒を飲むが上位となっています。

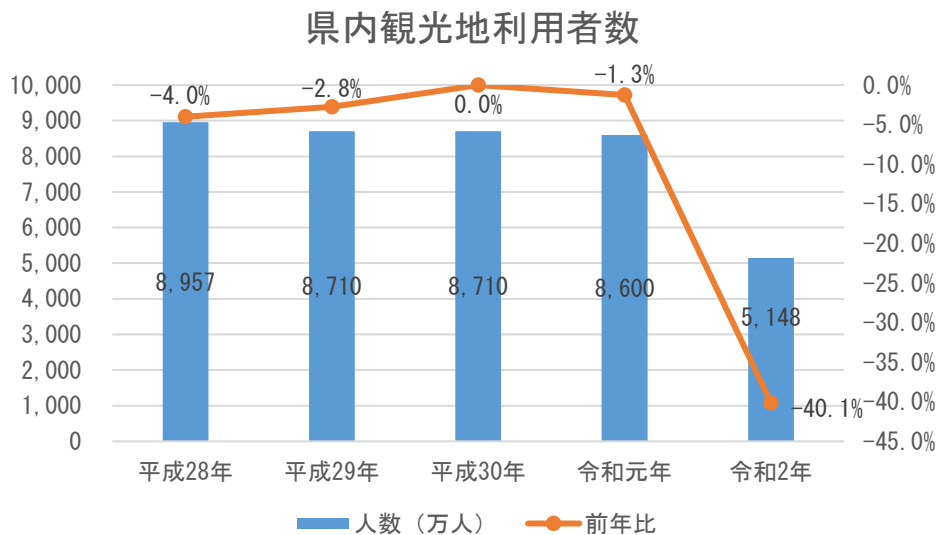
また、次回訪日時にやりたいことについては、日本食を食べる、温泉入浴、自然・景勝地巡り、ショッピング、四季の体感があげられており、日本文化・日本らしさを求める傾向が見られます。

出典：「旅行年報2021（公益財団法人日本交通公社）」の結果をもとに作成

2. 長野県内における観光の現状と動向

(1) 県内観光地利用者の概要

令和2年における長野県内の観光地利用者数は、延べ5,148万人で対前年比3,453万人(40.1%)減、観光消費額は1,841億円で前年比1,229億円(40.0%)の減となりました。



主要観光地の上位3地区は、「軽井沢高原」「善光寺」「上諏訪温泉・諏訪湖」となっており、3地点の利用者合計は1,090万人(全体の21.2%)となりました。

県内観光地の延べ利用者数を県内・県外別に見ると、県内客は延べ2,032万人で前年比1,091万人(34.9%)減、県外客は延べ3,115万人で対前年比2,362万人(43.1%)の減となりました。

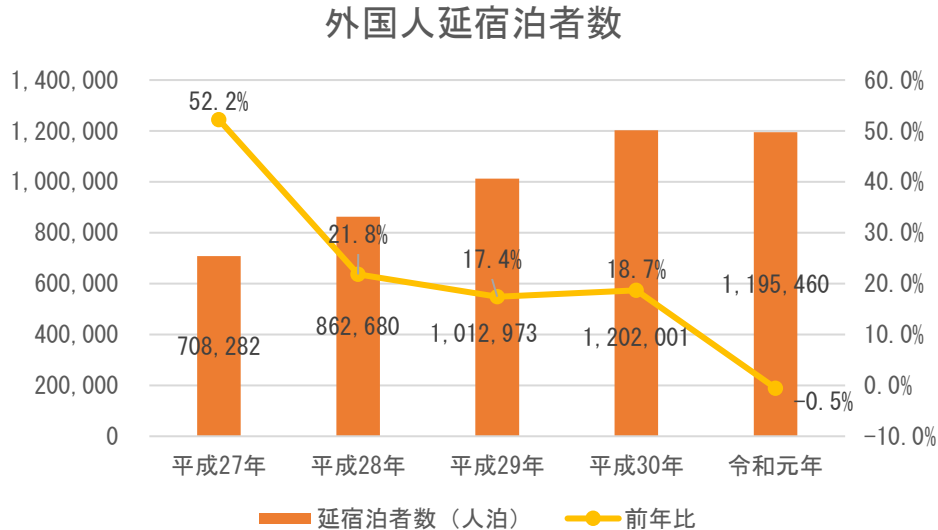
日帰・宿泊別に見ると、日帰客が延べ3,487万人で前年比2,284万人(39.6%)減、宿泊客が延べ1,661万人で前年比1,170万人(41.3%)の減となりました。

観光消費額は総額1,841億円で、日帰客による消費額は851億円、前年比556億円(39.5%)の減、宿泊客による消費額は990億円、前年比674億円(40.5%)の減となっています。

出典：「令和2年観光地利用者統計調査結果(長野県)」の結果をもとに作成

(2) 県内外国人旅行者の概要

令和元年の長野県内における外国人延宿泊者数（実数）は、1,195,460人泊で、前年比0.5%減となり、平成11年の調査開始以来、最高値となった平成30年の1,202,001人泊より0.5%減となりました。



国・地域別では、台湾が270,786人泊（構成比22.7%）と最も多く、次いでオーストラリア198,542人泊（構成比16.6%）、中国167,081人泊（構成比14.0%）となっています。

(3) 新たな取組み

コロナ禍において新たな働き方が模索される中、「テレワーク」や「リモートワーク」が浸透しつつあり、各自治体では、この動きに着目した「ワーケーション」（仕事と休暇の造語）による新たな観光需要、定住人口の増加を目的として、取組みを開始しています。

長野県でも「信州リゾートテレワーク」として当市をはじめ、多くの自治体で取組みを開始しています。

また、平成29年に施行された自転車活用促進法により、今後増加が期待される自転車活用の観光的取組みとしてサイクルツーリズムが全国的・県内的にも活発化しています。

サイクルツーリズムは、長野県内のグリーンシーズンにおける集客の落ち込みをカバーする事業としても期待されており、南北に長い長野県はリバーサイド・レイクサイド、里山・日本を代表する高山等コースレイアウトに優れており、体験型観光として期待されます。

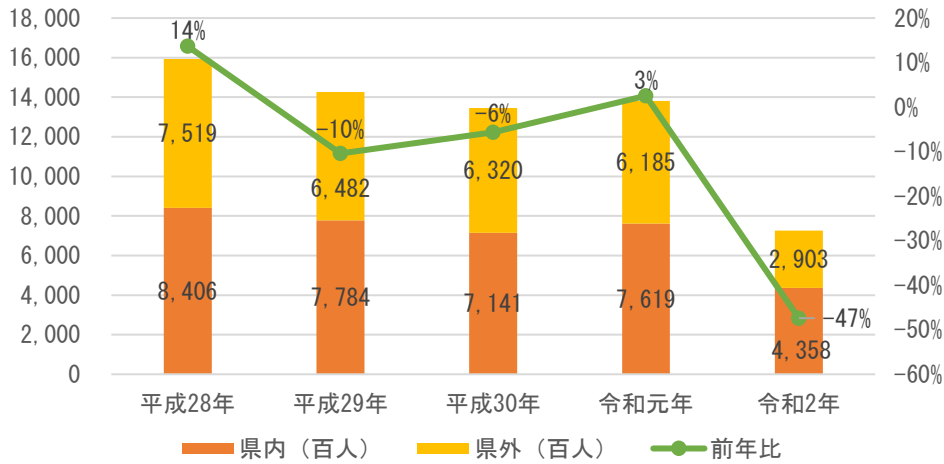
出典：「令和元年外国人延べ宿泊者調査結果（長野県）」の結果をもとに作成

3. 千曲市における観光の現状

(1) 千曲市内の観光の現状

○県内・県外からの観光客数

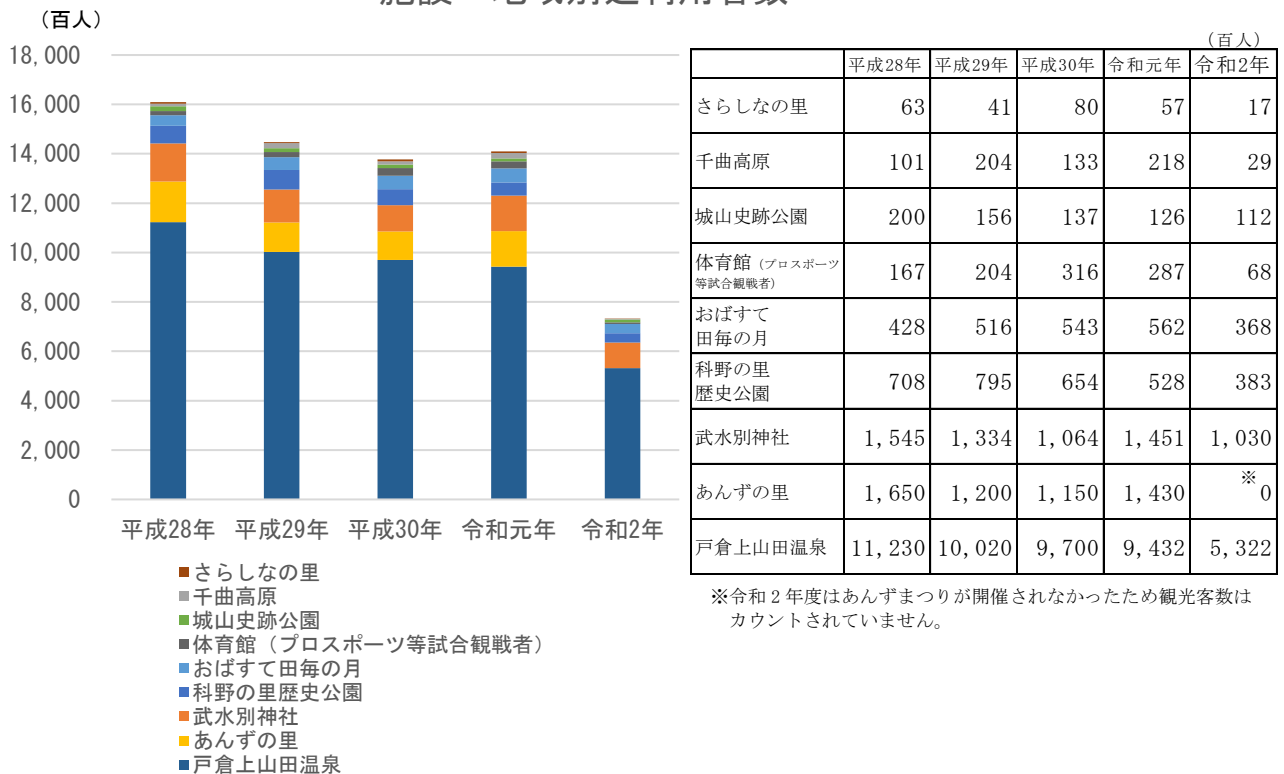
県内・県外からの観光客数



令和2年度に、市内を訪れた観光客は72万6000人（前年比47%減）と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前年を大幅に下回りました。

○施設・地域別延利用者数

施設・地域別延利用者数

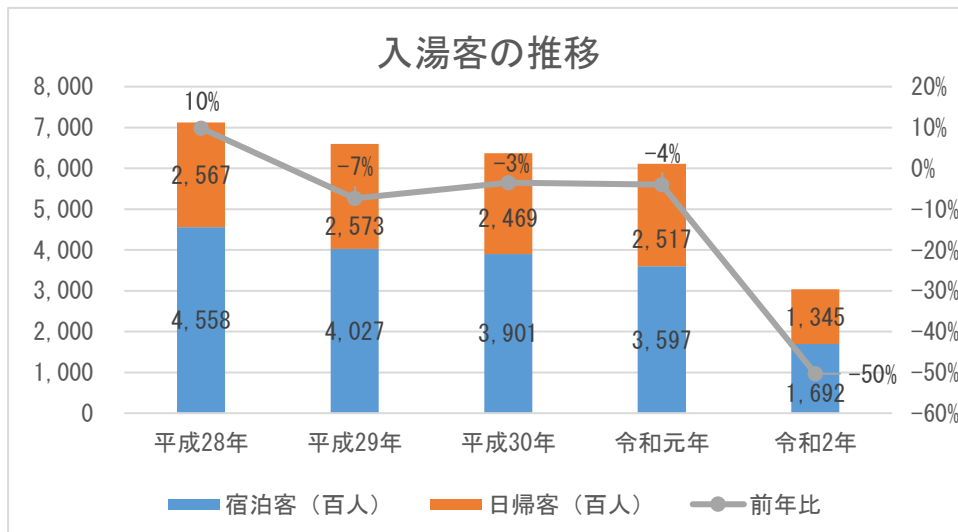


出典：「令和2年観光地利用者統計調査結果（長野県）」の結果をもとに作成

施設・地域別延利用者数を見ると、戸倉上山田温泉が観光誘客に大きく貢献しており、次いであんずの里、武水別神社となっています。

また、千曲市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「信州ブレイブウォリアーズ」の試合観戦者数は、市内施設での試合数の減少と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入場制限により少なくなっていますが、フットサルやバレーボールの試合も開催され、市内外のファンや県外の相手チームのファンが訪れており、千曲市観光の一翼を担っていると言えます。

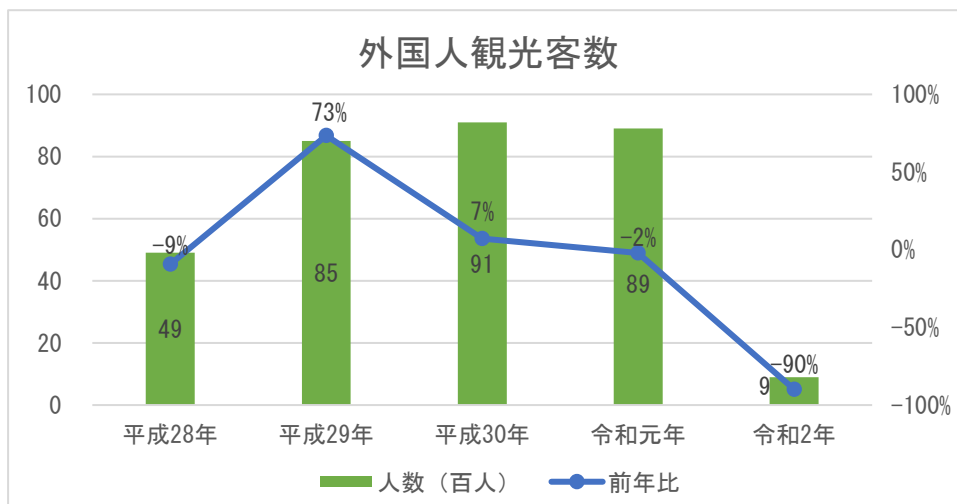
○入湯客数の推移



入湯客数は、年々減少傾向にあります。日帰客は横ばいですが、宿泊客が減少傾向にあります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により令和2年は30万人（日帰、宿泊とも前年比約50%減）となりました。

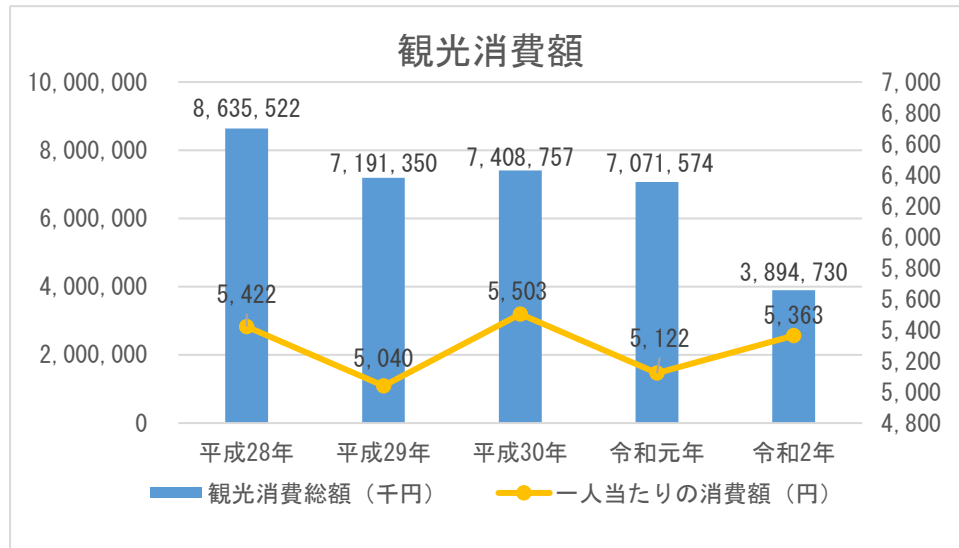
○外国人観光客数の推移



出典：「令和2年観光地利用者統計調査結果（長野県）」の結果をもとに作成

千曲市を訪れる外国人観光客数は、増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年は900人（前年比90%減）となりました。

○※¹ 観光消費額の推移

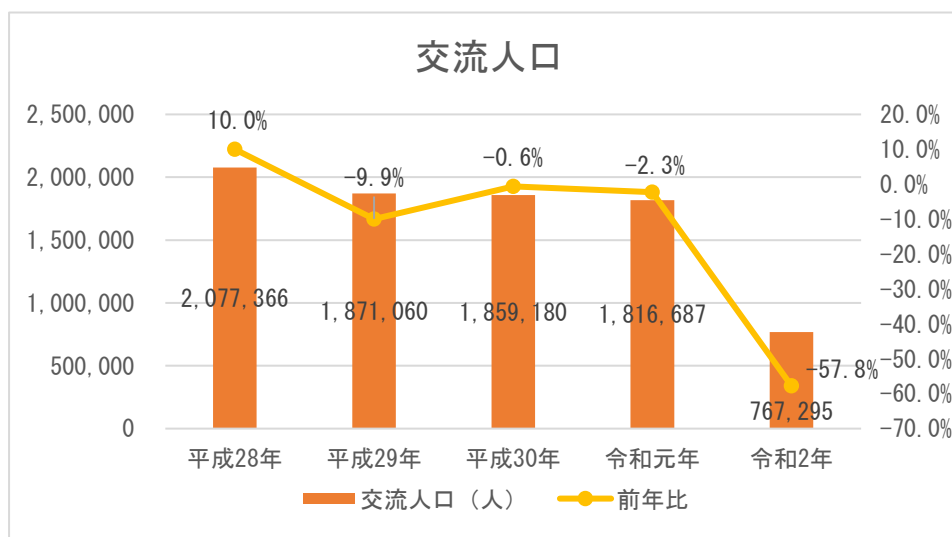


観光客が千曲市内で消費した総額（観光消費総額）および観光客一人当たりの消費額は年々、減少傾向にあります。

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により令和2年は38億9000万円（前年比45%減）となりました。

※¹ 観光消費額…観光客が観光地内で支出した宿泊費、飲食娯楽費、土産その他買い物費、観覧料またはこれに類するもの。

○※² 交流人口の推移



令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による観光客の減少、イベントの中止等により、76万7000千人（前年比57.8%減）となりました。

観光振興計画では、交流人口が数値目標となります。

※² 交流人口…観光のみならず、その地域を訪れる人々のこと。スポーツ、文化鑑賞、イベントなど。

出典：「令和2年観光地利用者統計調査結果（長野県）」の結果をもとに作成

(2) 市民の意識 ～観光に関する意識調査（市民アンケート）より～

【千曲市観光に関する意識調査】

実施期間：令和2年12月～令和3年1月

調査対象：満18歳以上の市民（R2.12.1現在）、事業者（宿泊、飲食、交通等）

標本数：（市民）1994人、回収数834人（回収率41.8%）

（事業者）200社（者）、回収数95社（者）（回収率47.5%）

①訪問・経験度と紹介意向度

千曲市の観光資源に対する訪問・購買・体験度と紹介意向度の結果を表にまとめました。（図表(2)-①-①～③）

訪問・購買・体験、紹介意向度の上位については、順位は違うものの同じ観光資源が挙げられています。

これは、実際に市民が訪問・購買・体験し、他人に薦めたいということがわかります。

図表(2)-①-① 千曲市観光に関する意識調査

順位	訪れたことがある	割合	紹介意向有	割合
1	戸倉上山田温泉	94.5%	姨捨の棚田	89.0%
2	武水別神社	93.3%	森將軍塚古墳・古墳館	85.8%
3	姨捨の棚田	85.9%	戸倉上山田温泉	85.4%
4	森將軍塚古墳・古墳館	83.1%	武水別神社	82.9%
5	戸倉宿キティパーク	83.1%	長野県立歴史館	80.3%
6	大池キャンプ場	77.0%	戸倉宿キティパーク	79.4%
7	長野県立歴史館	76.7%	あんずの里・あんずの里スケッチパーク	73.3%
8	あんずの里・あんずの里スケッチパーク	76.5%	ふるさと漫画館	72.2%
9	城山史跡公園荒砥城跡	59.0%	大池キャンプ場	63.3%
10	さらしなの里古代体験パーク	55.8%	城山史跡公園荒砥城跡	52.1%
11	千曲川萬葉公園	55.0%	さらしなの里古代体験パーク	51.2%
12	稲荷山宿 土蔵の街並み	54.3%	千曲川萬葉公園	38.0%
13	雨宮の渡し跡	37.1%	稲荷山宿 土蔵の街並み	36.4%
14	ふるさと漫画館	31.4%	雨宮の渡し跡	27.6%
15	稲荷山宿 蔵し館	24.9%	稲荷山宿 蔵し館	26.7%

図表(2)-①-②

順位	食べたことがある	割合	紹介意向有	割合
1	おしぼりうどん	79.2%	おしぼりうどん	79.6%
2	さらしなそば	77.0%	さらしなそば	79.1%
3	あんずスイーツ	64.6%	あんずスイーツ	70.0%

図表(2)-①-③

順位	体験したことがある	割合	紹介意向有	割合
1	姨捨夜景ツアー	30.7%	姨捨夜景ツアー	77.3%
2	くだもの狩り	29.7%	くだもの狩り	62.6%
3	千曲川での釣り	22.7%	サイクリング	54.5%
4	サイクリング	20.8%	千曲川での釣り	35.9%
5	芸妓ショー	9.5%	聖地巡礼…ロケ地めぐり	33.6%
6	聖地巡礼…ロケ地めぐり	8.1%	芸妓ショー	23.8%

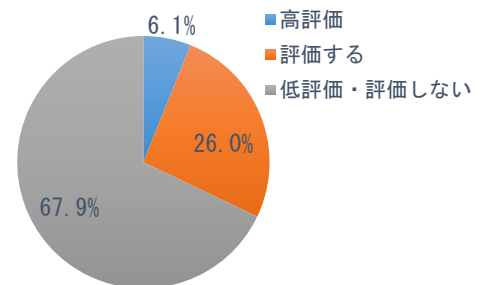
②観光地としての評価（魅力的な観光地）

図表(2)-②-①からわかるように、市民が千曲市を魅力的な観光地として「高評価」としたのは6.1%であり、「評価する」(26.0%)と合わせても32.1%程度となっています。それに対し、「低評価・評価しない」(67.9%)の割合が非常に高くなっています。

図表(2)-②-① 観光地としての評価（魅力的な観光地）

評価レベル	割合	魅力的な観光地と思うか	
高評価	6.1%	とてもそう思う	(6.1%)
評価する	26.0%	そう思う	(26.0%)
低評価・ 評価しない	67.9%	どちらともいえない	(32.0%)
		あまりそう思わない	(29.7%)
		全くそう思わない	(6.2%)

●観光地としての評価



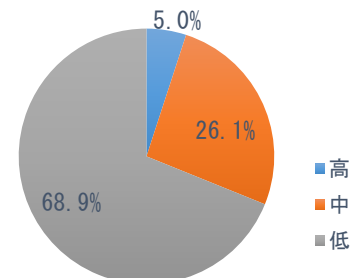
図表(2)-②-②の、「千曲市は知人・友人等にお薦めができる観光地であるか」の問いに対して、図表(2)-②-①の結果から、魅力的な観光地の評価が低いため、お薦めできる観光地としての推奨度も低くなっています。

また、図表(2)-①-①～③の結果では、他人にお薦めできる観光資源はあるものの、魅力的な観光地の評価が低いため、推奨度が低くなっています。

図表(2)-②-② 知人・友人にお薦めできる観光地

推奨度	割合	魅力的な観光地と思うか	
高	5.0%	とてもそう思う	(5.0%)
中	26.1%	そう思う	(26.1%)
低	68.9%	どちらともいえない	(36.4%)
		あまりそう思わない	(27.4%)
		全くそう思わない	(5.1%)

●知人・友人にお薦めできる観光地



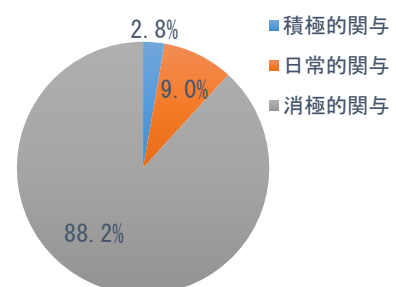
③観光客に対する意識と行動

図表(2)-③-①は、「観光客と接する機会」についてまとめたものです。観光客と積極的に関与している人の割合は2.8%であり、日常的に関与している人(9.0%)と合わせると、普段、観光客の来訪に関与している人の割合は11.8%になります。それに対し、あまり関与していない人(消極的関与)の割合は88.2%でした。

図表(2)-③-① 観光客と接する機会

関与度	割合	観光客と接する機会	
積極的関与	2.8%	日常生活の一環で接している	(2.4%)
		観光ボランティアとして接している	(0.4%)
日常的関与	9.0%	日常生活におけるコミュニケーション	(9.0%)
消極的関与	88.2%	接する機会はない	(84.8%)
		その他	(3.4%)

●観光客と接する機会

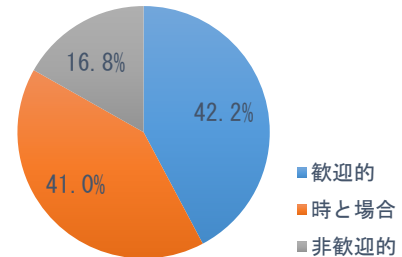


図表(2)-③-②は、「(観光客に対し)おもてなしの心を持って接しているか」についてまとめたものです。歓迎的行動をとる・意識している人の割合は、42.2%であるのに対し、「時と場合(どちらともいえない)」や「非歓迎的」な人の割合は、57.8%と前者を上回っていました。

図表(2)-③-② おもてなしの心と意識・行動

行動レベル	割合	おもてなしの心を持って接しているか	
歓迎的	42.2%	常々心がけている	(6.2%)
		心がけている	(36.0%)
時と場合	41.0%	どちらともいえない	(41.0%)
非歓迎的	16.8%	ほとんど心がけていない	(12.4%)
		全く心がけていない	(4.4%)

●おもてなしの心と意識・行動



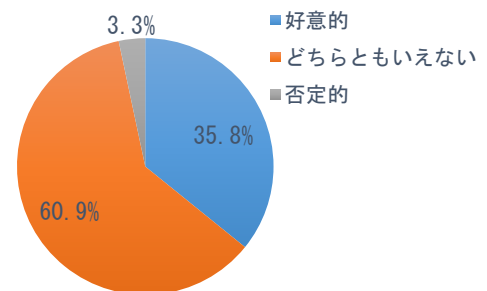
では、市民は観光客に対してどのような印象を持っているのでしょうか。

図表(2)-③-③によると、「好意的印象」を持つ人が35.8%であるのに対し、「非好意的である(否定的)、あるいは関心が薄いと解釈できる(どちらともいえない)」人の割合が、64.2%と半数を超えています。

図表(2)-③-③ 観光客に対する印象

印象レベル	割合	観光客に対する印象	
好意的	35.8%	良い	(11.0%)
		まあ良い	(24.8%)
どちらともいえない	60.9%	どちらともいえない	(60.9%)
否定的	3.3%	あまり良くない	(2.4%)
		良くない	(0.9%)

●観光客に対する印象

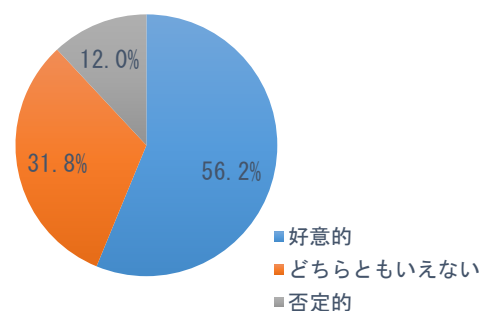


図表(2)-③-④は、外国人観光客の来訪に対する意識についてですが、来てほしいという「好意的」意識を持つ人は56.2%と半数を超えており、市民が外国人観光客の来訪に期待を寄せていることがわかります。

図表(2)-③-④ 外国人観光客の来訪に対する意識

印象レベル	割合	観光客に対する印象	
好意的	56.2%	ぜひ来てほしい	(15.8%)
		来てほしい	(40.4%)
どちらともいえない	31.8%	どちらともいえない	(31.8%)
否定的	12.0%	あまり来てほしくない	(9.1%)
		来てほしくない	(2.9%)

●外国人観光客の来訪に対する意識



(3) 事業者の意識 ～観光に関する意識調査（事業者アンケート）より～

①訪問・経験度と紹介意向度

市内事業者（宿泊、飲食、交通）等を対象とした、千曲市の観光資源に対する訪問・購買・体験と紹介意向度の結果を表にまとめました。（図表(3)-①-①～③）

市民アンケート同様、訪問・購買・体験、紹介意向度の上位については、順位は違うものの同じ観光資源が挙げられています。

図表(3)-①-① 千曲市観光に関する意識調査

順位	訪れたことがある	割合	紹介意向有	割合
1	戸倉上山田温泉	95.7%	姨捨の棚田	85.1%
2	姨捨の棚田	91.1%	戸倉上山田温泉	84.3%
3	武水別神社	87.7%	森將軍塚古墳・古墳館	78.3%
4	戸倉宿キティパーク	86.8%	戸倉宿キティパーク	74.7%
5	あんずの里・あんずの里スケッチパーク	76.7%	武水別神社	74.4%
6	千曲川萬葉公園	71.4%	長野県立歴史館	69.4%
7	城山史跡公園荒砥城跡	71.1%	あんずの里・あんずの里スケッチパーク	68.6%
8	大池キャンプ場	67.0%	城山史跡公園荒砥城跡	60.5%
9	森將軍塚古墳・古墳館	63.3%	大池キャンプ場	56.8%
10	長野県立歴史館	57.8%	さらしなの里古代体験パーク	48.2%
11	さらしなの里古代体験パーク	57.3%	千曲川萬葉公園	42.5%
12	稲荷山宿 土蔵の街並み	48.3%	稲荷山宿 土蔵の街並み	29.8%
13	雨宮の渡し跡	36.7%	雨宮の渡し跡	28.6%
14	稲荷山宿 蔵し館	26.7%	稲荷山宿 蔵し館	24.4%
15	ふるさと漫画館	24.2%	ふるさと漫画館	19.5%

図表(3)-①-②

順位	食べたことがある	割合	紹介意向度有	割合
1	さらしなそば	93.2%	さらしなそば	90.5%
2	おしぼりうどん	91.1%	おしぼりうどん	89.7%
3	あんずスイーツ	62.1%	あんずスイーツ	61.0%

図表(3)-①-③

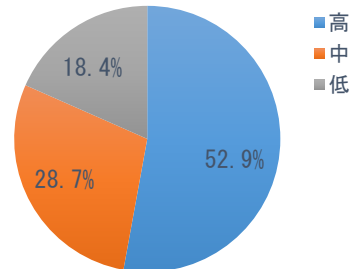
順位	体験したことがある	割合	順位	紹介意向度有	割合
1	姨捨夜景ツアー	(39.56)	1	姨捨夜景ツアー	(80.49)
2	くだもの狩り	(37.78)	2	くだもの狩り	(67.47)
3	芸妓ショー	(28.89)	3	サイクリング	(51.76)
	千曲川での釣り	(28.89)	4	芸妓ショー	(45.12)
4	サイクリング	(23.08)	5	千曲川での釣り	(43.90)
5	聖地巡礼…ロケ地めぐり	(15.56)	6	聖地巡礼…ロケ地めぐり	(36.71)

外国人観光客の来訪、外国人観光需要についての考えについては、図表(2)-③-④の市民が外国人観光客の来訪に期待を寄せていると同様に事業者も重要と考えています。

図表(3)-①-④ 外国人観光客の来訪、外国人観光需要についての考え

重要度	割合	外国人観光客の来訪 観光需要の重要性
高	52.9%	とても重要である (11.5%)
		重要である (41.4%)
中	28.7%	どちらともいえない (28.7%)
低	18.4%	あまり重要ではない (13.8%)
		全く重要ではない (4.6%)

●外国人観光客の来訪、外国人観光需要
についての考え



②今後力を入れるべき観光資源

図表(3)-②-①は、今後力を入れるべき観光資源についての結果ですが、図表(3)-①-①～③ 訪問・体験度と紹介意向度において上位となった観光資源について、事業者は力を入れるべきだと考えています。

図表(3)-②-①～③ 今後力を入れるべき観光資源

順位	①場所	割合	順位	②食べ物	割合
1	戸倉上山田温泉	87.4%	1	さらしなそば	55.8%
2	姨捨の棚田	75.8%	2	おしぼりうどん	54.7%
3	戸倉宿キティパーク	44.2%	3	あんずスイーツ	35.8%
4	城山史跡公園荒砥城跡	43.2%			
5	武水別神社	37.9%	順位	③体験	割合
	森將軍塚古墳・古墳館	37.9%	1	姨捨夜景ツアー	64.2%
	あんずの里・あんずの里スケッチパーク	37.9%	2	くだもの狩り	41.1%
6	長野県立歴史館	34.7%	3	芸妓ショー	27.4%
7	さらしなの里古代体験パーク	22.1%		サイクリング	27.4%
		大池キャンプ場	22.1%	4	千曲川での釣り
8	千曲川萬葉公園	19.0%	5	聖地巡礼…ロケ地めぐり	17.9%
9	稲荷山宿 土蔵の街並み	12.6%			
10	雨宮の渡し跡	11.6%			
11	稲荷山宿 蔵し館	8.4%			
12	ふるさと漫画館	7.4%			



戸倉宿キティパーク



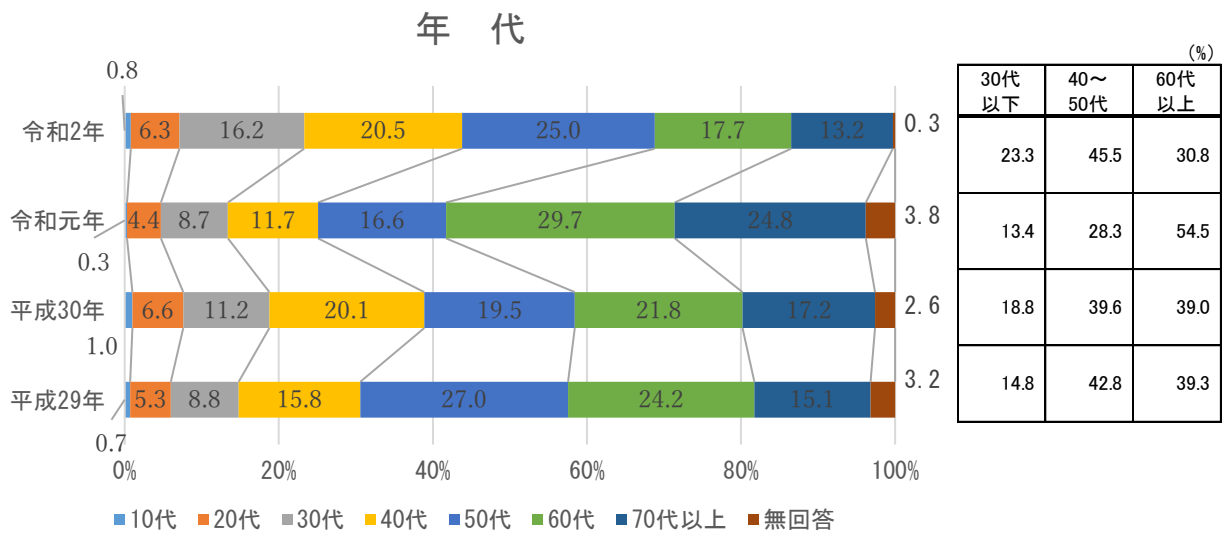
姨捨からの夜景

(4) 来訪者の満足度 ～来訪者満足度調査結果より～

【(一社) 信州千曲観光局「2020年度千曲市来訪者満足度調査結果」より】
 調査期間：令和2年9月19日～令和2年9月30日
 調査対象：調査期間中に千曲市を訪れた国内旅行者
 有効回答数：600件

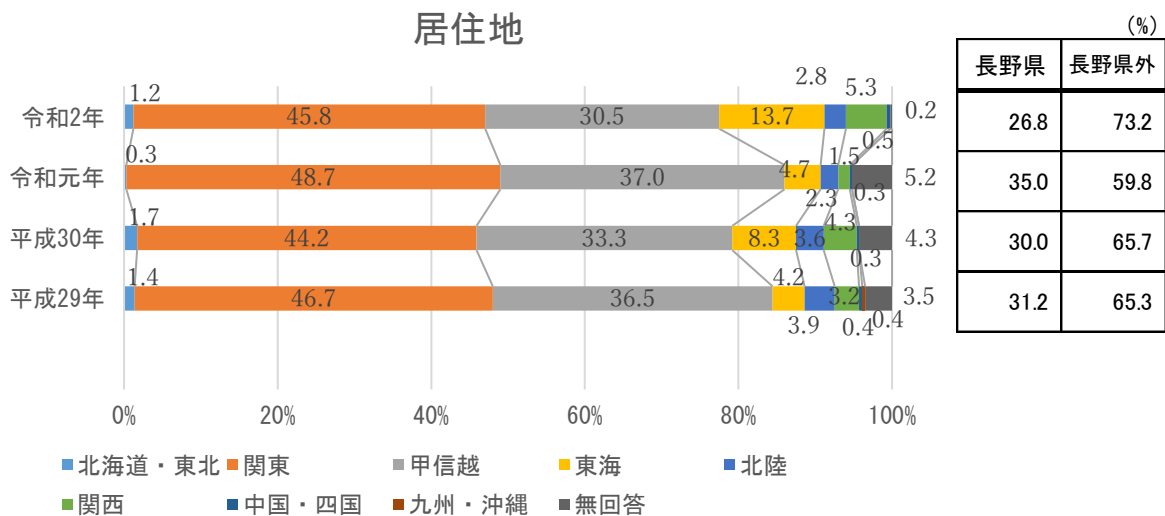
○年代

「40～50代」が45.5%と過半数に近い割合を占めています。また、「30代以下」も全体の23.3%を占めており、全体的に若年化が見られます。



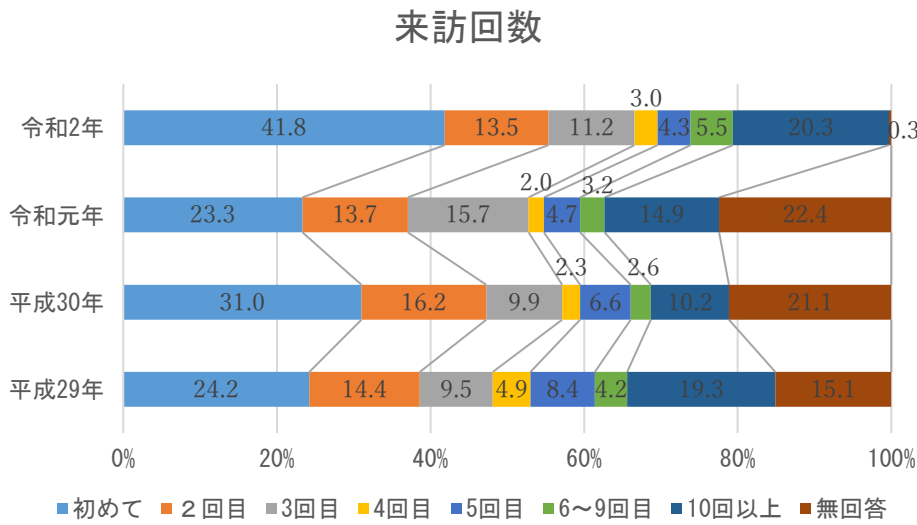
○来訪者の居住地

関東・甲信越地方が76.3%と大半を占めています。



○千曲市への来訪回数

リピーターが57.8%と半数を超えており、そのうちの約2割が10回以上の人となっています。

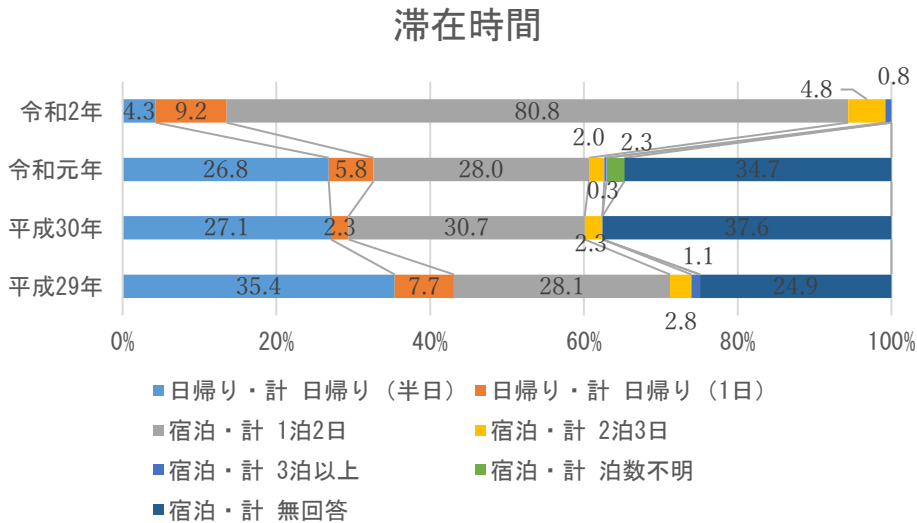


リピーター計		平均(回)
57.8	*	
54.2	5.27	
47.9	4.02	
60.7	5.35	

* 令和2年は「秋季」のみ調査実施、来訪回数を選択肢で提示したため「平均(回)」なし

○千曲市での滞在時間

「1泊2日」が8割を占めています。

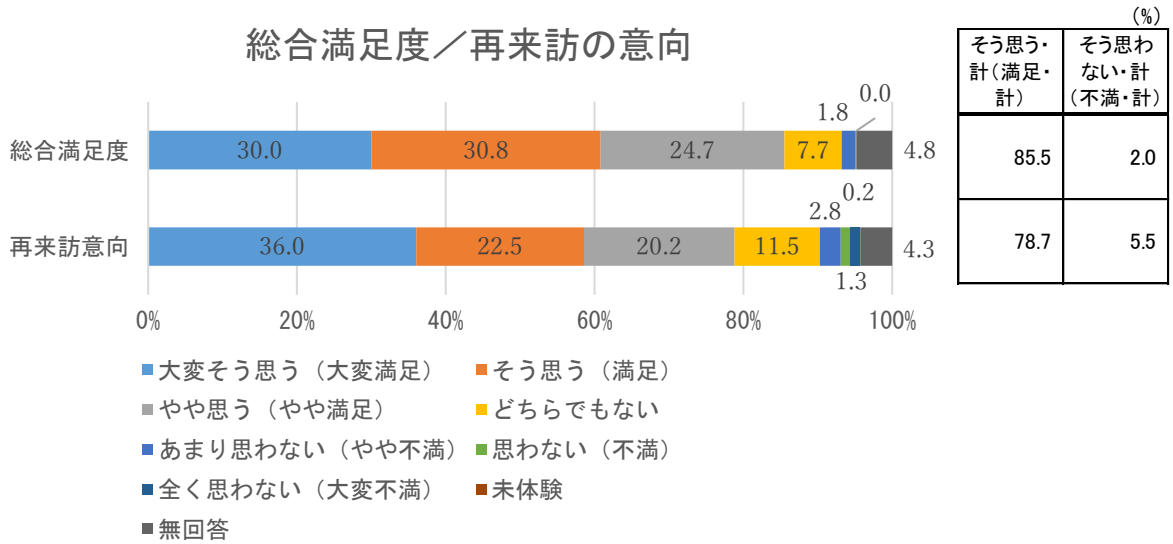


宿泊者平均(泊)		
日帰り・計	宿泊・計	宿泊者平均(泊)
13.5	86.5	1.08
32.7	32.7	1.12
29.4	33.0	1.07
43.2	31.9	1.17

○千曲市来訪の総合満足度と再来訪意向（1年以内）

千曲市を訪れた人の満足度は、「大変満足」～「やや満足」の合計は85.5%となり、「満足」という評価は全体の過半数を占めています。

また、再来訪の意向についても、「大変そう思う」～「やや思う」の合計は78.7%で、1年以内の来訪意向は大半を占めています。



＜第3章 千曲市が目指す観光の将来像(ビジョン)＞

1. 観光振興ビジョン

長野県の北部に位置する千曲市。冠着山（姨捨山）、鏡台山をはじめとする山々に囲まれ、市の中心部には市名の由来となる千曲川が流れ、豊かな恵みをもたらしています。

かつて、この地域が「さらしな」と呼ばれていた頃、平安時代～江戸時代の都人をはじめ、多くの文人墨客たちが想いを寄せ、憧れ、この地を訪れました。

今なお残る日本の原風景と、古の人々が築き上げてきた歴史・文化・伝統・技術を後世に残すとともに、訪れる人が歴史や文化に親しみ、千曲市に更に興味を抱き、何度も訪れたくなるまちづくりを進めます。

そのためには、自らの住む地域の歴史や文化、豊かな自然に誇りと愛着を持ち、皆が意識を高めていくことが重要と考えます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光に対する意識が大きく変わり、新しい観光スタイルへと変容が進む中、新たな誘客取組の強化とリピーターの獲得を目指します。

千曲市観光の将来像のキャッチフレーズ

月とあんずと名湯と

～いつでも何度でも癒されるまち～

千曲市の観光資源



2. 数値目標

指標名	基準値 (令和2年度末)	目標値 (令和8年度末)
※1 交流人口	77万人	186万人
入湯客数	30万人	64万人
（日帰り）	13万人	25万人
（宿泊者）	17万人	39万人
（宿泊者のうち訪日外国人）	900人	9,100人
※2 観光消費額	39億円	74億円

●数値設定の考え方

観光スタイルの変化と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んだ観光需要も、新たな観光スタイルに対応した受け入れ態勢の確立および新型コロナウイルス感染症収束による観光施設等の通常運営や各種イベントの通常開催により、徐々に回復して行くことが考えられます。

本計画における数値目標については、観光需要をコロナ禍以前の状態に戻すことを目標として、コロナ禍以前の実績数値（平成30年）に設定することといたします。

なお、数値目標については、新型コロナウイルス感染症と観光需要の動向を見据えながら、改めて設定を見直してまいります。

※1 観光消費額

観光客が観光地内で支出した宿泊費、飲食娯楽費、土産その他買い物費、観覧料またはこれに類するもの。

※2 交流人口

観光のみならず、その地域を訪れる人々のこと。スポーツ、文化鑑賞、イベントなど。

＜第4章 観光の振興に関する基本方針＞

千曲市は、次に掲げる観光の振興に関する基本方針に基づき、目指す将来像“月とあんと名湯と～いつでも何度でも癒されるまち～”の実現に向けた施策を戦略的かつ積極的に実施します。

1 観光振興施策の推進

千曲市の持つ観光資源の魅力をもっと磨き上げ、観光客の多様なニーズに応えるための観光施策の推進を図ります。

2 観光需要の創出

観光客の多様なニーズに応え、各地域の観光資源を活かした魅力ある取り組みを検討し、誘客を図ります。

3 観光基盤の充実・強化

観光客に安心・安全に過ごしていただくため、さまざまな資源のインフラ整備や、周遊の利便性を図るための交通基盤の整備を図ります。

4 観光情報発信の充実

観光客の増加を目指すため、千曲市の魅力や情報の的確な発信を図ります。

＜第5章 観光の振興に関する基本的施策＞

千曲市観光振興施策体系図

目指す姿	基本方針	施策	取組項目	
月とあんずと名湯と いつでも何度でも癒されるまち	1. 観光振興施策の推進	(1) 千曲ブランドの確立・維持・強化	①エリア毎のブランド強化 (あんず・科野の里、旧街道・稲荷山、猿捨・さらしなの里、戸倉上山田温泉、千曲川)	
			②イメージづくりのプロモーション	
			③ブランド商品の活用と高付加価値化	
		(2) 固有の文化・景観の保全	①日本遺産「月の都 千曲」を構成する地域の景観保全	
			②あんずの景観保全	
			③重要伝統的建造物群保存地区の景観保全	
			④千曲川の景観保全	
			⑤伝統芸能・文化資源の保存・活用	
		(3) 観光客の満足度アップ	①おもてなしの心の醸成	
			②リピーターの獲得	
		(4) 「オール千曲」で挑む観光振興 ～官民連携で推進する観光振興～	①市民・地域との交流プログラムの企画・実施	
			②にぎわいのある温泉街づくり	
			③観光ガイドの育成・活用	
			④信州千曲観光局との連携で観光地域をマネジメント	
		2. 観光需要の創出	(1) 誘客の取り組みの強化	①旅行者のニーズに合わせた観光の推進
				②インバウンドの推進
	③広域観光の推進			
	3. 観光基盤の充実・強化	(1) 観光施設等の整備	①既存施設の機能向上と新たな観光施設の整備	
			②ユニバーサルデザインの推進	
		(2) 利便性の強化	①交通ネットワークの整備（二次交通含む）	
②新たな移動サービスの推進				
4. 観光情報発信の充実	(1) 効果的な情報発信	①各種媒体による情報発信		
		②観光大使等によるPR		
		③旅行中の観光情報の充実		

Ⅰ 観光振興施策の推進

(1) 千曲ブランドの確立・維持・強化

令和2年に日本遺産に認定された「月の都 千曲」を新たな観光振興の施策に加え、千曲市の地域イメージアップと、地域ブランド商品の魅力と付加価値を高め、千曲ブランドの確立と維持・強化を図ります。

① エリア毎のブランド強化

市内の5つのエリア（Ⅰ.あんず・科野の里、Ⅱ.旧街道・稻荷山、Ⅲ.姨捨・さらしなの里、Ⅳ.戸倉上山田温泉、Ⅴ.千曲川）それぞれの魅力を引き出すための施策展開を行います。

【具体的な取組内容】

- エリア毎の独自施策の検討・実施
 - ・ エリア毎の四季折々の魅力を高めるための施策を検討・実施
- 各エリア連携した事業の企画・実施
 - ・ 各エリア連携した観光ルートづくりや「月の都」を結び付けた事業などを企画・実施

② イメージづくりのプロモーション

千曲市を訪れてもらうための仕掛けづくりとして、各エリアにある独自性の高い地域資源にブランドストーリーやキャッチコピーを作成し、積極的なプロモーション活動を行っていきます。

【具体的な取組内容】

- 地域資源にブランドストーリーやキャッチコピーを作成し、プロモーション活動の実施
 - ・ 観光客の印象に残るようなブランドストーリーや明確なキャッチコピーの作成、活用
- 信州千曲観光局との連携を強化し、一体化してPR活動を推進
 - ・ 信州千曲観光局と連携したプロモーション活動を実施



森將軍塚古墳



大池自然の森

③ブランド商品の活用と高付加価値化

地域の観光資源を調査・分析し、「ここにしかないもの」を産業界と連携し、ブランド商品として開発・販売を行います。

また、ブランド商品の高付加価値化を図るための取り組みを進めます。

【具体的な取組内容】

○ここでしか買えない商品の開発・販売

- ・生産者、加工者、販売者と連携し、ブランド商品の開発・販売
- ・プレミアムハーコット「杏月」のPR

○信州千曲ブランドと^{きょうと}杏都ブランドを一本化した取り組み実施

- ・千曲市のブランドとして一本化した取り組みの実施

※信州千曲ブランド：千曲ブランド推進協議会認定 杏都ブランド：千曲商工会議所認定

(2) 固有の文化・景観の保全

地域において守り伝えられてきた祭礼行事、民俗芸能等の個性豊かな伝統文化の継承・発展を守るため、伝統文化を保存・活用する事業を支援します。また、千曲市固有の自然景観や文化的景観を後世に引き継ぐため、地域全体で景観保全に取り組みます。

①日本遺産「月の都 千曲」を構成する地域の景観保全

国の名勝に指定され、重要文化的景観にも選定されている「姨捨棚田」を中心とする地域一体が、令和2年に「月の都 千曲」として日本遺産に認定されました。

「月の都 千曲」は、後世に引き継ぐ貴重な観光資源です。これらの資源を保全・活用し、観光地としての魅力をより高めていくために、関係者だけでなく地域全体で支えていく仕組みづくりを目指します。

【具体的な取組内容】

○棚田保全団体および地域との連携、後継者育成

- ・棚田保全のための農家等への支援
- ・棚田の保全について理解を深めてもらうための、若者を対象にした稲作体験

○ふるさとの良さ、伝説などを子供たちに語り継ぐ

- ・地域、教育機関との連携による学習機会の提供



姨捨の棚田



長楽寺から見える月

②あんずの景観保全

千曲市を代表する花木「あんず」を後世に残すため、あんずの木の保存とあんず生産農家を増やす施策に取り組みます。

【具体的な取組内容】

○景観木保護のための支援

- ・あんずの里内に約190本ある景観木（あんずの木の市指定木）の保護のための所有者への支援

○あんずの木の増植および生産農家の拡充を進める

- ・苗木購入、圃場整備に対する補助
- ・地域との協働による農村景観の維持



③重要伝統的建造物群保存地区の景観保全

稲荷山地区は江戸時代に善光寺道（北國西街道）の宿場町として、近代は北信濃を代表する商都として栄え、それらの生業が店の構えに影響を与え、独特の界限性を生み出し景観を構成しています。個々の歴史的建築物を保全するだけでなく、その地で営まれる生活や生業の保全もすることで町並み景観の保全・整備をし、観光資源としての活用を図ります。

【具体的な取組内容】

○町並み整備のための調査・研究、事業の実施

- ・建造物修理事業等の促進
- ・飲食店や土産物屋の出店などの調査・研究

④千曲川の景観保全

千曲川は、千曲市における重要な眺望景観資源であり、市名の由来となる日本を代表する大河です。千曲川は多くの文人墨客に愛され様々な作品が遺されています。近年は水質悪化や外来生物により生態系のバランスが崩れ、景観の悪化が懸念されています。ボランティア清掃活動等を通じて市民の千曲川に対する愛着心の醸成とともに景観の保全を目指します。

また、千曲川に親しむための遊び場づくりやイベントの実施など、観光資源としての活用も図ります。



【具体的な取組内容】

○景観保全のための清掃活動、外来植物等の駆除

- ・千曲川河川敷の清掃活動やアレチウリなどの外来植物の駆除
- ・釣りリズムにより千曲川に魅力ある釣り場づくりや外来魚の駆除
- ・千曲川に親しめる遊び場づくりやイベントなどを企画・実施



⑤伝統芸能・文化資源の保存・活用

地域において守り伝えられてきた伝統芸能や歴史・文化に由来する観光資源を守るためその価値を保存しながら、活用を図ります。

【具体的な取組内容】

○伝承・保存への支援と活用・PR

・伝承・保存への支援とともに、継続するために活用とPR

(3) 観光客の満足度アップ

千曲市の魅力を再認識するとともに、「誰もが心配なく訪れることができる観光地」、「何度も訪れたい観光地」となるよう、観光客を温かくお迎えし、リピーターの獲得を目指します。

①おもてなしの心の醸成

市民一人ひとりが千曲市の魅力を再認識し、観光客を温かく迎えるための対応ができるよう、おもてなし意識のレベルアップを図ります。

【具体的な取組内容】

○市民および観光関連事業者等対象のおもてなし講習会の実施

・市民、観光事業者、関係団体等が協力し、おもてなしの心を醸成するための講習会の開催

②リピーターの獲得

リピーターであることによって特別感の得られる演出などを検討・実施します。

【具体的な取組内容】

○「もう一度来たい」、「もう一度泊まりたい」仕組みづくり

・いつ来ても楽しめるようなイベントの開催や再来訪時の特典付与など、リピーターを獲得するための仕組みづくり



森將軍塚まつり

©信州千曲観光局



牛に引かれて善光寺詣り

©信州千曲観光局

(4) 「オール千曲」で挑む観光振興 ～官民連携で推進する観光振興～

これからの観光は、行政主導だけではなく市民と一体となった「オール千曲」で観光客をもてなすことが重要と考えます。

自らが住む地域の魅力を再認識し、市民と行政が一体となった「オール千曲」で観光振興の推進を目指します。

①市民・地域との交流プログラムの企画・実施

市民・地域の交流イベントなどを企画・実施し、地域の活動を活性化し、観光交流が盛んな観光地を目指します。

【具体的な取組内容】

- 観光客が市民や地域団体とふれあい、体験できる場の創出
 - ・それぞれの地域の特色を活かしたイベント等開催
 - ・地域を盛り上げるため、観光大使等と地域の人たちとのふれあいの場づくり
- 地域資源・特性を活かした体験ツアーなどの企画・実施
 - ・農家や企業等の協力による体験ツアーの企画・実施

②にぎわいのある温泉街づくり

戸倉上山田温泉は古くから善光寺参りの精進落としの湯として栄えてきました。開湯120年を超える県内屈指の温泉は、数多くの源泉があり、その泉質の良さから「美肌の湯」として人気の温泉です。「昼間は外湯巡りや歴史探訪」、「夜はネオン街を浴衣姿でカラコロ歩く」そんな人でにぎわうまちづくりを進めています。

【具体的な取組内容】

- 観光客がいつ来ても楽しめるイベントの開催
 - ・外湯めぐりや謎解きゲームなど、個人や家族で温泉街を巡るイベント等の開催
 - ・閑散期におけるイベント等の開催
- 情緒あふれる温泉街の整備
 - ・景観に配慮した施設等の整備
 - ・居心地がよく歩きたくなる空間づくり



城山史跡公園 荒砥城跡



カラコロの足湯

③観光ガイドの育成・活用

観光客のおもてなしや満足度の向上を図るため、地域住民と連携して、各地域の観光資源におけるボランティアガイドを育成・活用します。

【具体的な取組内容】

○ガイド養成講習会の開催

- ・既存ガイドの活用と、新たなガイドを養成するためのガイド養成講習会の開催
- ・若手の人材育成のための中学生・高校生・大学生を対象とした観光に関する研修等実施と地域の方に千曲市のことを学んでもらうための「ちくま検定」の実施

④信州千曲観光局との連携で観光地域をマネジメント

本市の※DMOである一般社団法人 信州千曲観光局には、本計画に掲げた施策の具体的な企画を行うことや、各事業者と連携して中心的に事業を推進していくことが求められます。

一般社団法人 信州千曲観光局がDMOとしての機能を十分果たせるよう、市と連携して体制の強化をしていきます。

【具体的な取組内容】

○信州千曲観光局との連携による観光振興の推進

- ・行政と観光局との役割分担を再確認し、連携による観光振興の推進

○観光客が市内で消費を高める仕組みづくり

※DMO…Destination Marketing Organization の略。

観光のマーケティングや商品開発などを一体的に進める組織のこと。地域の「稼ぐ力」を高め、地域の誇りや愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、観光業のメリット・恩恵を地域にもたらすことを目指す。

2 観光需要の創出

(1) 誘客の取り組みの強化

観光客ニーズの把握と分析を行い、関係団体と連携をとりながら、観光客獲得のための取り組みを検討・実施し、誘客を図ります。

①旅行者のニーズに合わせた観光の推進

千曲市独自の特色ある観光資源や特産品などを活用するとともに、旅行者のニーズに合わせたプログラムを開発し、誘客を図ることで地域経済を活性化します。

また、本市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「信州ブレイブウォリアーズ」をはじめとするプロスポーツチーム等と連携して誘客プログラムを開発・実施し、観光客の増加を図ります。

【具体的な取組内容】

- 観光客の要望に合致した旅行商品の造成と提供
 - ・ビジネスの場から教育・文化活動まで、幅広い分野と幅広い年齢層の要望に合った旅行商品の造成（ワーケーション、滞在型、*MICE、教育旅行、ロケツーリズム、合宿等）
- プロスポーツチーム等を活用した誘客プログラムの開発・実施
 - ・試合日に合わせた観戦ツアーの実施
 - ・試合会場での観光宣伝および特産品の販売

*MICE（マイス）…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の総称

②インバウンドの推進

人口減少による国内観光需要の減少が予測される中、2021年東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことにより、訪日外国人旅行者数は増加することが期待されます。

国・地域ごとのコロナ収束を見極め、誘客可能となった国・地域等からインバウンドの誘致を図ります。

【具体的な取組内容】

- 受け入れ施設の整備、外国人旅行者のためのガイド養成
 - ・案内看板等の多言語化
 - ・観光施設・商業施設等の外国語対応の推進
- インバウンド関係協議会等への参加
 - ・関係協議会等との連携による訪日旅行者の誘致

③広域観光の推進

周辺・近隣市町村、公共交通機関等と連携し、同じテーマに沿った連携や観光資源を相互に結び付け、相乗効果により本市の魅力の向上に努めます。

【具体的な取組内容】

- JR、しなの鉄道との連携によるキャラバン、イベントの実施
 - ・JR、しなの鉄道との連携による千曲市の観光PR
- 広域観光推進協議会等への参加
 - ・北信濃観光連盟、上信越ふるさと街道協議会、信州シルクロード連携協議会へ参加し、観光資源を相互に結び付けた相乗効果によるPR



観光列車「ろくもん」

3 観光基盤の充実・強化

(1) 観光施設等の整備

観光施設等の維持管理を適正に行い、観光客の満足度の向上を図ります。また、既存施設の機能向上と新たな施設の整備を検討し、観光客の利便性の向上を図ります。

①既存施設の機能向上と新たな観光施設の整備

観光客のニーズの多様化に伴い、既存施設では満足度を高めることは難しくなっています。観光客の求めているニーズを把握し、既存施設の整備の必要性、機能の充実などを検討し整備を図っていきます。

【具体的な取組内容】

○棚田展望駐車場の整備

- ・日本棚田百選にも選ばれている「姨捨棚田」を訪れた観光客のための駐車場と、棚田を眺望できる「ビュースポット」の整備

○既存施設を利用した観光拠点の整備

- ・既存施設を活用し、観光客が立ち寄れる「場所」などの整備を検討
- ・観光客の満足度と利便性の向上を図るため、既存施設の機能向上と適正な維持管理の実施

②ユニバーサルデザインの推進

誰もが旅行を楽しめる環境づくりのため、ハード面（交通機関や施設等）の整備とソフト面（人的サービス、情報等）の充実を図っていきます。

【具体的な取組内容】

○施設、案内表示などのユニバーサルデザイン化

- ・利用しやすい安全な施設、わかりやすい標識の整備など安全安心を提供



日本遺産センター



長楽寺

(2) 利便性の強化

観光客の移動における快適性を向上させるため、交通ネットワークの整備や観光地における利便性の確保などを検討・実施します。

① 交通ネットワークの整備（二次交通含む）

関係団体、交通事業者と連携して、駅などの拠点から観光地へのアクセスや地域間の周遊の利便性向上を図ります。

【具体的な取組内容】

- シェアカー・シェアサイクルの普及
 - ・公共交通機関を利用して訪れた観光客の移動手段として利便性の向上
- 公共交通機関との連携により利便性を強化
 - ・列車内への自転車持ち込みなど、観光地での移動手段の検討
- 公共交通利活用によるサービスの実施
 - ・市内の見どころを循環する観光バスの運行や語り部タクシーの検討・実施
- 姨捨スマートICフル規格化の推進
 - ・利便性の向上、観光の玄関口として、姨捨スマートICフル規格化の推進

② 新たな移動サービスの推進

公共交通利用者の利便性の向上のための施策の調査・研究を行い、実現に向けて取り組みます。

【具体的な取組内容】

- 市内公共交通の利便性向上のための施策の調査・研究、実施
 - ・専用アプリの開発のための調査・研究



シェアサイクル（令和3年9月～12月 実証実験実施）

4 観光情報発信の充実

(1) 効果的な情報発信

各種媒体を利用したタイムリーな情報発信や、人脈等を活用したPRなど、人目を引く方法や工夫をし、効果的な誘客を図ります。

また、旅行中の情報取得などの利便性の向上を図るため、インターネット環境の整備も行います。

① 各種媒体による情報発信

パンフレットなどの紙媒体からSNSなどのインターネット、観光大使やPRキャラクターなど、様々な情報伝達手段を有効に活用し、観光情報を発信していきます。また、ホームページ、ブログなどの活用による「口コミ情報」の発信も有効な手段として活用していきます。

【具体的な取組内容】

○ SNS、紙媒体などによる情報発信と効果の検証

- ・ SNSによる情報発信や、ポスター・パンフレットによる紙媒体の情報発信
- ・ 情報発信方法の効果についての検証
- ・ 観光情報の取得が容易になるよう情報の共有と一元化の推進

② 観光大使等によるPR

観光大使や千曲市にゆかりのある人など、「ひと」を活用した情報発信を行います。

【具体的な取組内容】

○ 観光大使等によるPRおよび情報発信

- ・ 観光大使、千曲市にゆかりのある人、ゆるキャラなどを活用した情報発信

○ 市内外から募集したアンバサダーによるエリア毎の情報発信

- ・ アンバサダーを募集し、得意な分野での情報発信

③ 旅行中の観光情報の充実

観光客が知りたい情報をリアルタイムに得られるよう、効果的な情報発信を行います。

【具体的な取組内容】

○ スマホサイトでの施設の混雑状況などのリアルタイム発信

- ・ 施設・イベント等の混雑状況などをリアルタイム発信する手段の研究
- ・ SNSなどによる「個人」からの情報発信を有効活用

＜第6章 観光振興計画推進にあたって＞

1. 計画推進体制

観光振興の推進にあたっては、まちづくりの主人公である市民や観光振興における中心的な役割を担う一般社団法人 信州千曲観光局や観光事業者、行政のそれぞれが責任と役割を果たしつつ、相互に連携し施策を進めていく必要があります。

また、国や県、周辺市町村、地域外の観光振興に関わる民間事業者（旅行商品企画・販売、情報発信、交通輸送サービス）などとのネットワークを積極的に構築していくことで、市の観光振興の取り組みが実質的な効果を発揮できるようにします。

2. 計画の検証

観光振興計画に基づき実施された観光振興に関する施策について、毎年度検証のうえ必要な見直しを行います。

3. 計画の評価

本計画の評価体制として、「千曲市観光推進本部（外部組織）」、「千曲市観光振興推進会議（庁内組織）」により、具体的な取組状況の進捗状況の把握や、検証結果等に基づく評価、意見交換等を行う体制を構築します。

4. 役割一覧表

施策の内容	取組主体			
	行政	団体	観光局	市民
(1) 千曲ブランドの確立・維持・強化				
① エリア毎のブランド強化				
エリア毎の独自施策の検討・実施	●	●	●	
各エリア連携した事業の企画・実施	●	●	●	
② イメージづくりのプロモーション				
地域資源にブランドストーリーやキャッチコピーを作成しプロモーション活動の実施	●	●	●	
信州千曲観光局との連携を強化し、一体化してPR活動を推進	●		●	
③ ブランド商品の活用と高付加価値化				
ここでしか買えない商品の開発・販売	●	●		●
信州千曲ブランドと杏都ブランドを一本化した取り組み実施	●	●		
(2) 固有の文化・景観の保全				
① 日本遺産「月の都 千曲」を構成する地域の景観保全				
棚田保全団体および地域との連携、後継者育成	●	●		●
ふるさとの良さ、伝説などを子供たちに語り継ぐ	●	●	●	●
② あんずの景観保全				
景観木保護のための支援	●			●
あんずの木の増植および生産農家の拡充を進める	●	●		●
③ 重要伝統的建造物群保存地区の景観保全				
町並み整備のための調査・研究、事業の実施	●	●		●
④ 千曲川の景観保全				
景観保全のための清掃活動、外来植物等の駆除	●	●		●
⑤ 伝統芸能・文化資源の保存・活用				
伝承・保存への支援と活用・PR	●	●	●	
(3) 観光客の満足度アップ				
① おもてなしの心の醸成				
市民および観光関連事業者対象のおもてなし講習会の実施	●	●	●	●
② リピーターの獲得				
「もう一度来たい」、「もう一度泊まりたい」仕組みづくり	●	●	●	

観光振興施策の推進

施策の内容	取組主体				
	行政	団体	観光局	市民	
観光振興施策の推進	(4) 「オール千曲」で挑む観光振興 ～官民連携で推進する観光振興～				
	①市民・地域との交流プログラムの企画・実施				
	観光客が市民や地域団体とふれあい、体験できる場の創出	●	●	●	●
	地域資源・特性を活かした体験ツアーなどの企画・実施	●	●	●	
	②にぎわいのある温泉街づくり				
	観光客がいつ来ても楽しめるイベントの開催	●	●	●	●
	情緒あふれる温泉街の整備	●	●		●
	③観光ガイドの育成・活用				
	ガイド養成講習会の開催	●	●	●	
	④信州千曲観光局との連携で観光地域をマネジメント				
	信州千曲観光局との連携による観光振興の推進	●		●	
	観光客が市内で消費を高める仕組みづくり	●	●	●	
観光需要の創出	(1) 誘客の取り組みの強化				
	①旅行者のニーズに合わせた観光の推進				
	観光客の要望に合致した旅行商品の造成と提供	●		●	
	プロスポーツチーム等を活用した誘客プログラムの開発・実施	●	●	●	
	②インバウンドの推進				
	受け入れ施設の整備、外国人旅行者のためのガイド養成	●	●	●	
	インバウンド関係協議会等への参加	●	●	●	
	③広域観光の推進				
	JR、しなの鉄道との連携によるキャラバン、イベントの実施	●		●	
広域観光推進協議会等への参加	●		●		
観光基盤の充実・強化	(1) 観光施設等の整備				
	①既存施設の機能向上と新たな観光施設の整備				
	棚田展望駐車場の整備	●			
	既存施設を利用した観光拠点の整備	●			
	②ユニバーサルデザインの推進				
施設、案内表示などのユニバーサルデザイン化	●	●	●		

施策の内容	取組主体				
	行政	団体	観光局	市民	
観光基盤の充実・強化	(2) 利便性の強化				
	①交通ネットワークの整備（二次交通含む）				
	シェアカー・シェアサイクルの普及	●		●	
	公共交通機関との連携により利便性を強化	●	●		
	公共交通利活用によるサービスの実施	●	●		
	姨捨スマートＩＣフル規格化の推進	●	●		
	②新たな移動サービスの推進				
市内公共交通の利便性向上のための施策の調査・研究、実施	●	●	●		
観光情報発信の充実	(1) 効果的な情報発信				
	①各種媒体による情報発信				
	SNS、紙媒体などによる情報発信と効果の検証	●	●	●	●
	②観光大使等によるPR				
	観光大使等によるPRおよび情報発信	●		●	
	市内外から募集したアンバサダーによるエリア毎の情報発信	●		●	
③旅行中の観光情報の充実					
スマホサイトでの施設の混雑状況などのリアルタイム発信	●		●		

＜巻末資料＞

千曲市観光振興計画策定委員会要綱

平成27年3月25日

告示第12号

改正 平成29年2月1日告示第5号

(設置)

第1条 市民と行政が協働して観光の振興と発展を図る計画を策定するため、千曲市観光振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 観光振興計画の策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 地域住民の代表者
- (2) 観光関連団体等の代表者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 公募による者
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、市長が委嘱したときから観光振興計画の策定が終了するまでの間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員が互選する。

- 2 委員長は、会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、議長となる。

(部会)

第7条 専門的な事項について調査、検討するため、委員会に部会を設置することができる。

- 2 部員は、委員長の指名する委員をもって充てる。
- 3 部会に、部会長及び副部会長を置き、委員長が指名する。
- 4 部会長は、部会を統括する。
- 5 部会長は、部会における調査等の状況を、随時委員長に報告するものとする。

(庶務)

第8条 委員会等の庶務は、経済部観光交流課が行う。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この告示は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年2月1日告示第5号)

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

千曲市観光振興計画策定委員会委員名簿

	氏名	団体名
委員長	児玉 久夫	千曲市観光推進本部
副委員長	柳ヶ瀬 貴一郎	戸倉上山田温泉旅館組合連合会青年部
委員	宮澤 淳治	八幡まちづくり実行委員会
	片桐 優香	稻荷山地区まちづくり推進会議
	宮澤 保徳	千曲市川西地区振興連絡協議会
	柳澤 常子	桑原地区振興会
	金井 實	姨捨棚田名月会
	竹口 孝男	NPO法人あんずの里振興会
	新井 誠一	長野県タクシー協会更埴支部
	小平 和正	戸倉上山田カラコロにぎわい協議会
	タイラー リンチ	インバウンド研究会
	諸山 千絵	しなの鉄道株式会社
	馬場 稔	一般社団法人 科野青年会議所
	古川 令子	信州千曲ブランド認定業者の会
	久保 幸子	有限会社 信州観光バス
	小宮山 敦史	戸倉上山田温泉旅館組合連合会
	中村 芳弘	屋代駅前通り商店街協同組合
	吉池 伸光	一般社団法人 信州千曲観光局
	辺見 真知子	千曲商工会議所
	宮島 信明	楽知会
	金井 秀子	戸倉上山田商工会
	水澤 憲治	更埴漁業協同組合
窪田 友里恵	公募委員	
堀口 強	公募委員	

第三次千曲市観光振興計画

令和4年3月策定

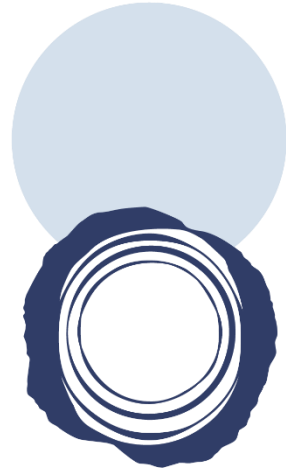
千曲市経済部観光交流課

〒387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL026-273-1111(代) FAX 026-273-1921

E-mail kanko@city.chikuma.lg.jp

URL <https://www.city.chikuma.lg.jp/>



月の都千曲